



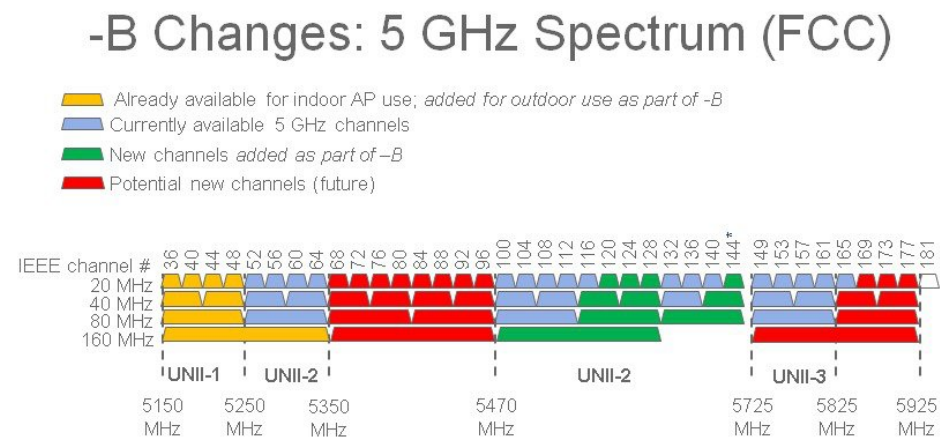
## 米国の劇場向けの新しい -B 規制ドメイン

米国の FCC 規則が最近変更になり、2016 年 6 月 2 日付で製品は -A ドメインから -B ドメインに移行する必要があります。-A ドメインを使用するアクセスポイントは 6 月の期限後も引き続き米国内で稼働することは可能ですが、6 月 2 日以降に製造または販売されるすべてのアクセスポイントは -B ドメインである必要があります。

以下に新しい規則 (FCC 命令 14-30) の要件の概要を示します。

- U-NII 1 バンド (5150-5250 MHz) は屋外の使用に対して許可されます。 (+4 チャンネル)
- U-NII 1 バンド (5150-5250 Mhz) で許可される TX 電力レベルは 1W に増加され (屋内、屋外、ポイント ツー ポイント)、屋外で使用される場合は水平 30 度を超える EIRP が厳しく制限されます。
- 端末ドップラー気象レーダー (TDWR) バンド (チャンネル 120、124、128) は、DFS (Dynamic Frequency Selection) 保護の新しいテスト要件により再オープンされます。 (+3 チャンネル)
- U-NII3 (5.725-5.85 GHz) の新しい電源スペクトル密度と上下バンドエッジ出力要件

図 1: -B ドメインの新しいチャンネルを示すスペクトル図



\*Channel 144 was allowed for use prior to the FCC 14-30 order but not supported until -B introduced

シスコは積極的にこの新しい FCC 命令を実装しています。

- シスコの WLAN 製品は新しい FCC 規則に準拠します。
- -B ドメイン SKU のオーダー受付開始時期の計画
  - 最近の新しい AP シリーズはすでに -B をサポートしており、オーダー可能です。今後のすべての新しい AP シリーズは FCC の -B をサポートすることになります。多くの AP シリーズはすでに -B オーダー可能になっています。
  - -A および UX SKU の米国への販売は 2016 年 5 月 1 日付で規制が開始されます。
- ソフトウェア アップグレードは -B ドメイン AP をサポートする必要があります。
  - -B AP の導入を計画していない米国のお客様はソフトウェアをアップグレードする必要はありません。ただし、6 月の FCC 期限後に -B AP の導入を計画する場合はアップグレードが必要になります。
  - -A および -B ドメイン AP は同じネットワーク内で問題なく共存できます。
- 6 月の期限後の -A 装置の RMA では -A が戻されます。

AP 2800 および AP 3800 に関する準拠の一般的な考慮事項を以下に示します。

- 米国のお客様向けに、「-B」ドメインは現在、AP 3800 で使用されています。米国のお客様は米国ベースのお客様向けに -A ドメインを注文することはできません。「-A」を使用するそのほかの国については変更ありません。この変更は米国にのみ適用されます。この新しい「-B」ドメインは米国内で許可される新しいチャネルと送電をサポートします。
- お客様の国における使用認可をご確認ください。特定の国に対応する認可、または特定の国で使用される規制ドメインを確認するには以下を参照してください。 <http://www.cisco.com/go/aironet/compliance>
- すべての規制ドメインで認可されているわけではありません。認可され次第、グローバル価格表に製品番号が記載されます。